

法人理念	✿キリスト教精神に基づいて子どもの人権や主体性を尊重し、一人ひとりがより良く育つことを大切にする。 ✿保護者や地域社会と力を合わせて、児童の福祉を増進し家庭支援を行う。 ✿職員は豊かな愛情をもって接し養護と教育の一体化を図るため、より一層専門性を高め技術向上に努める。						
営業時間	8時45分～17時	療育日時	毎日 9時30分～13時30分	送迎	無	給食	有
支援方針	テーマ「家」を通して、言葉の発達を促します シルバニアや絵本、パズルを通して家に興味もてるように促していきます。 遊んでいながら、応答的なやり取りを行っていきます。						

項目	支援内容	
本人支援	健康・生活	身の回りのことを自分で行いクラスでの生活のリズムを整える ・上着や服を畳んで片付ける。 ・おかえりの会の後、おたより袋を自分でカバンに入れる。 ・カードを選んで、見たい本を伝えられるようにする。 排泄になれる トイレの場所がわかり、便座に座ることに慣れていく。 スプーンの操作、コップで飲むことに慣れていく 作業療法士の手立ての元、スプーンの操作やコップで飲むことに少しずつ慣れていく。
	運動・感覚	寒い気候も感じながら、戸外で体を動かして遊ぶ ・ボールを両手で投げる。投げたボールを追いかける。・待て待てあそび ・トンネルくぐり ・三輪車やスクーターで遊ぶ（こぐ、押す、引く、曲がる、進む） ・探索あそび 手先を使って遊ぶ ・シールをはる・テープはがし・スタンプを押す・紙をちぎる・のりを指先につけて貼る・ねんどあそび 集団あそびを楽しむ・（音楽療法、体操、ゴムくくり）
	認知・行動	組立て遊ぶ レゴブロック、積み木・輪ゴムかけ、ペグ差しなどを通して見本と同じように作る。または自分で組み立ててあそぶ。
	言語 コミュニ ケーション	ごっこあそびを通して応答的な言葉のやり取りを行う 「いえ」「やね」「まど」「かべ」「ドア」「げんかん」「びんぼーん」「おふろ」「トイレ」「つくえ」「イス」 「こんにちは」「おじゃまします」「さようなら」「トントン」「どなたですか?」「はいどうぞ」など、テントを用 意したり、シルバニアに触れながら表現できるようにする
	人間関係 社会性	おうちごっこを楽しむ ・ドレッサーや洋服を着て身支度する場、キッチンでご飯を作る、ベットでねる、赤ちゃん人形を風呂に入れるなどお 家でのごっこ遊びを通して担任や友だちとのやり取りを楽しんでい
	歌・絵本など	絵本 「ふゆといえば」 「メイシーちゃんのいちにち」 うた 「こんこんくしゃんのうた」 うた絵本 「きたかぜこぞうのかんたろう」 わらべうた 「せんべ、せんべ」 「てんやのおもち」 手あそび 「やまごやいっけん」
家族支援	・ 1/2 3 最終 ペアレントトレーニング	
職員の質の向上	「世界一幸せな国」オランダの教育に学ぶ “イエナプラン教育を考えよう！！”	
主な行事等	避難訓練 （不審者侵入）	